

平成30年版

柏市死亡小票分析

平成31年3月15日

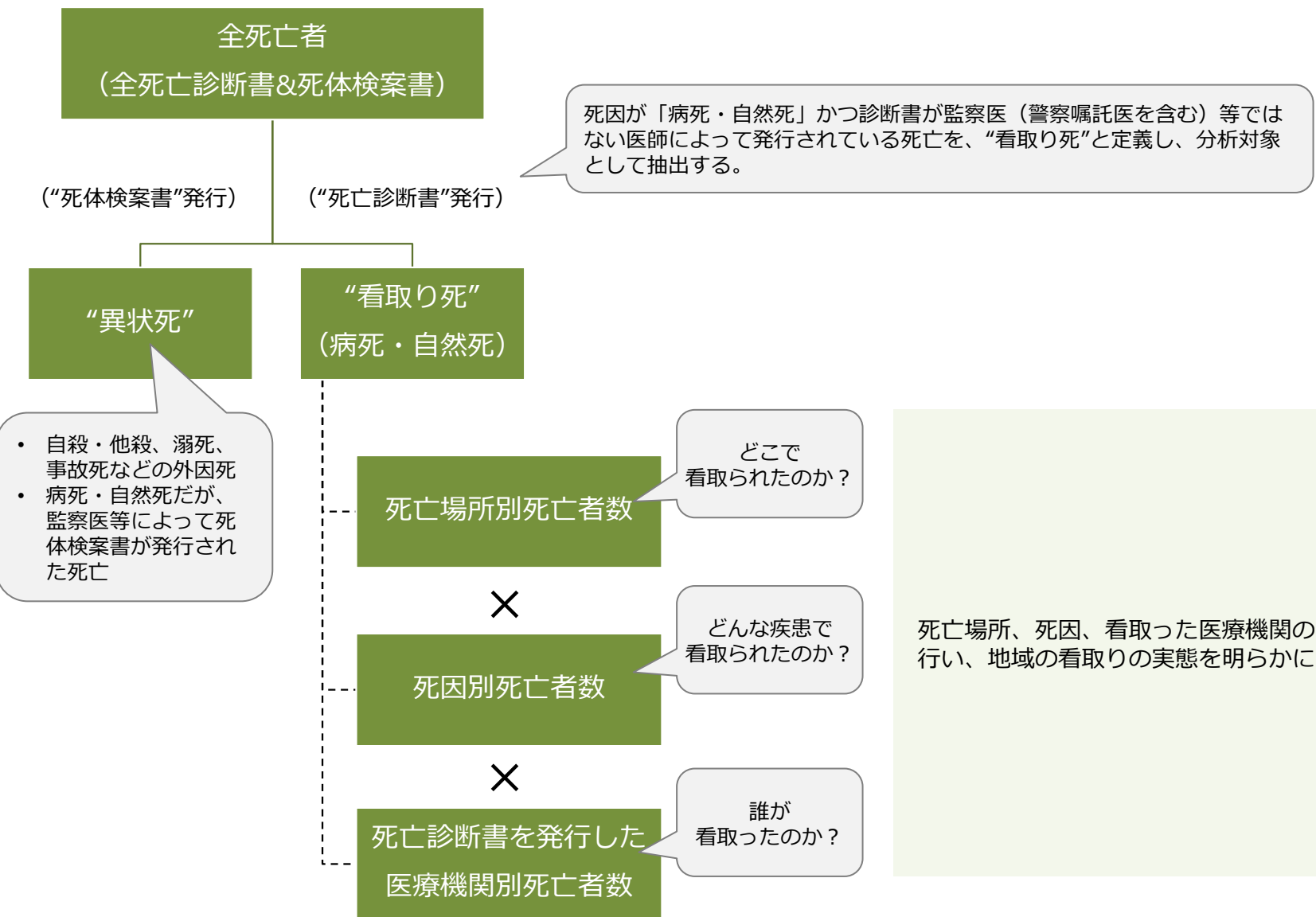
柏市保健福祉部 地域医療推進課

目次

- Section.0 (P2~8) 調査概要及び人口データ
- Section.1 (P10~15) 全死亡者数と“看取り死”の推移
- Section.2 (P16~21) 自宅での“看取り死”の推移
- Section.3 (P22~25) その他データ

調査概要及び人口データ

死亡小票分析のイメージ



死亡場所、死因、看取った医療機関のクロス分析を行い、地域の看取りの実態を明らかにする。

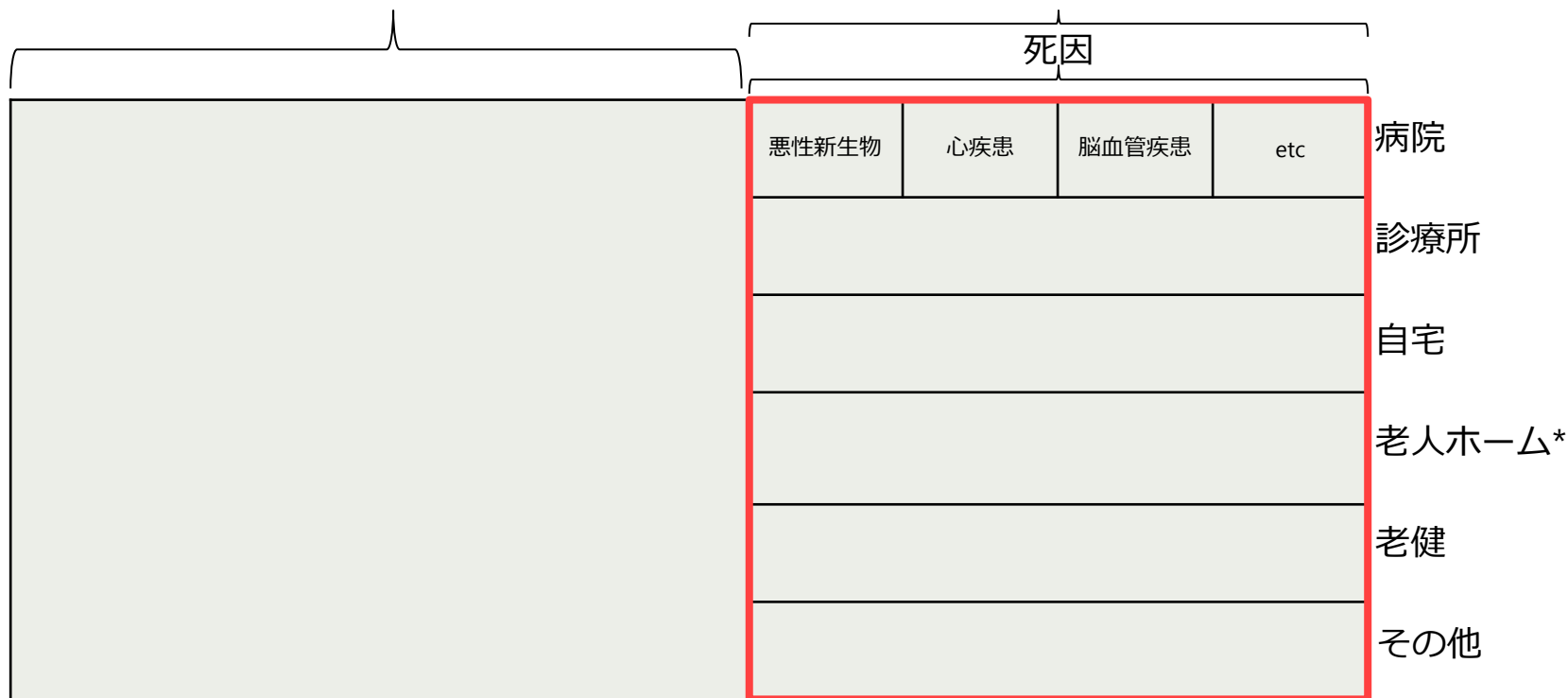
死亡小票データの見取り図

“看取り死”を主な分析対象とします

死亡分類

異状死
(死体検案書発行)

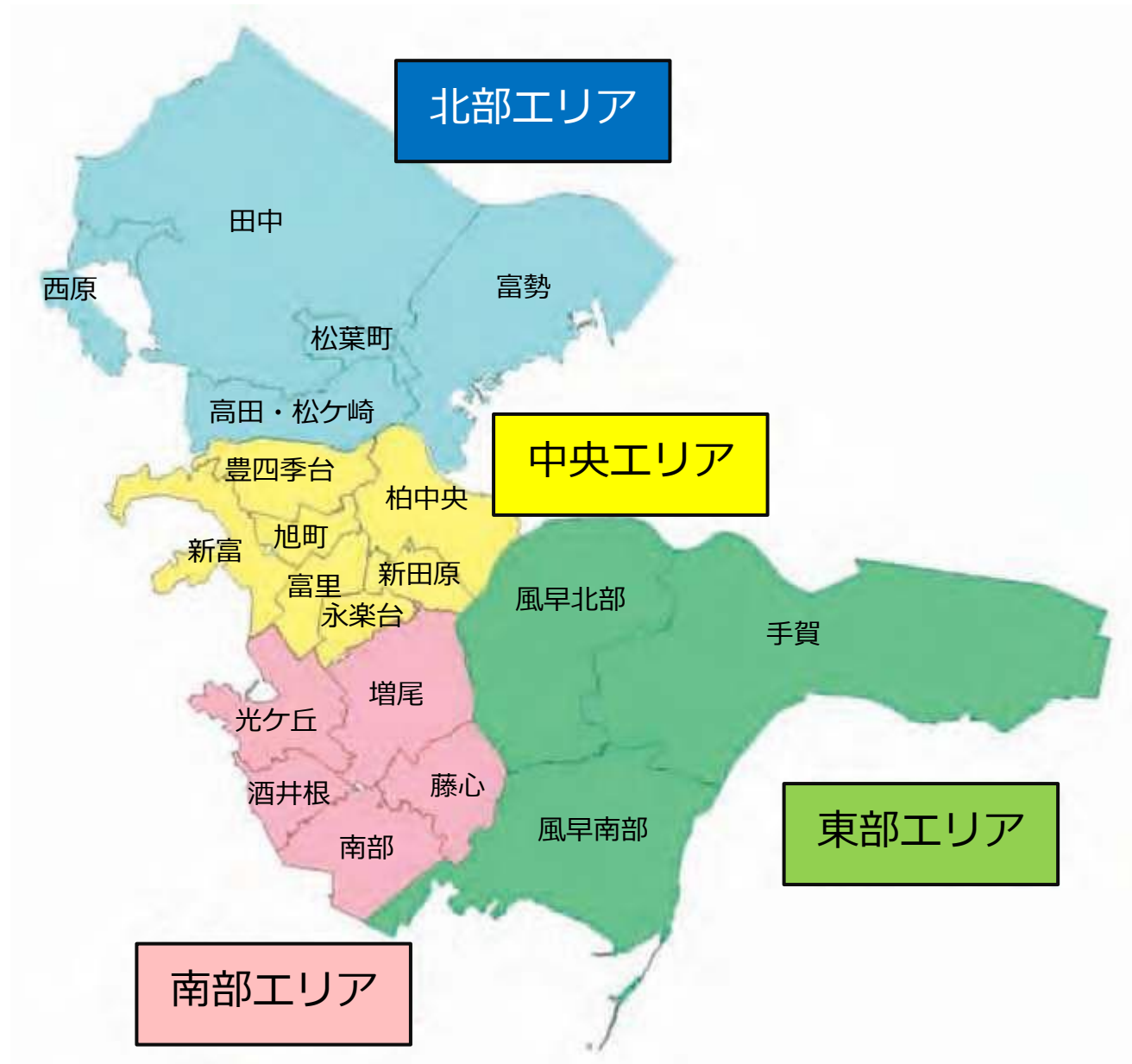
看取り死
(死亡診断書発行)



死亡した場所の種類

*老人ホームには、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム、その他老人ホームを含む

柏市のエリア（地域）の分け方

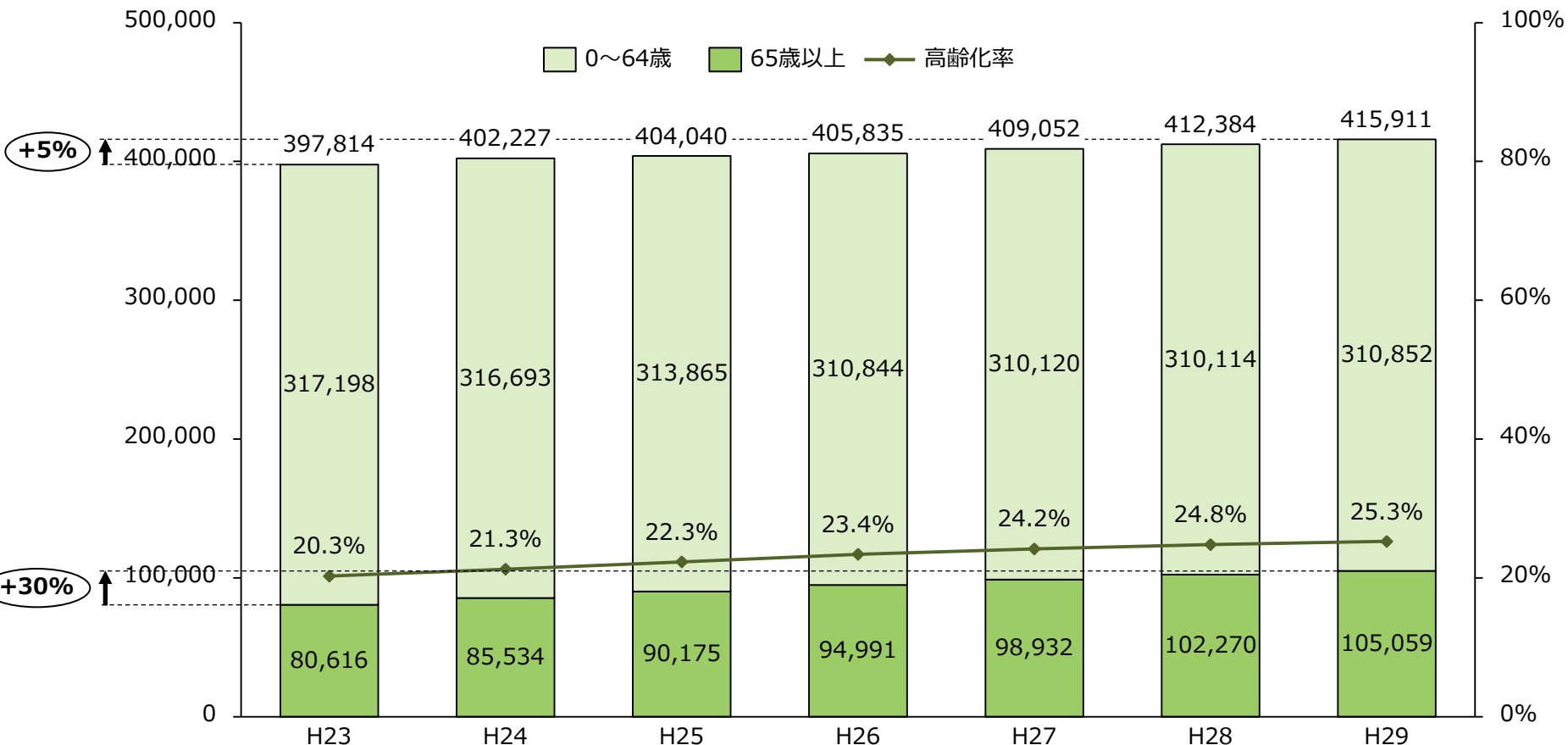


柏市の人口推移と高齢化率

- 人口は一貫して増加傾向にある。
- 平成23年から全体の人口は5%増加したが、65歳以上では30%増加した。
- 高齢化率は年間0.5~1ポイント程度ずつ上昇しつつある。

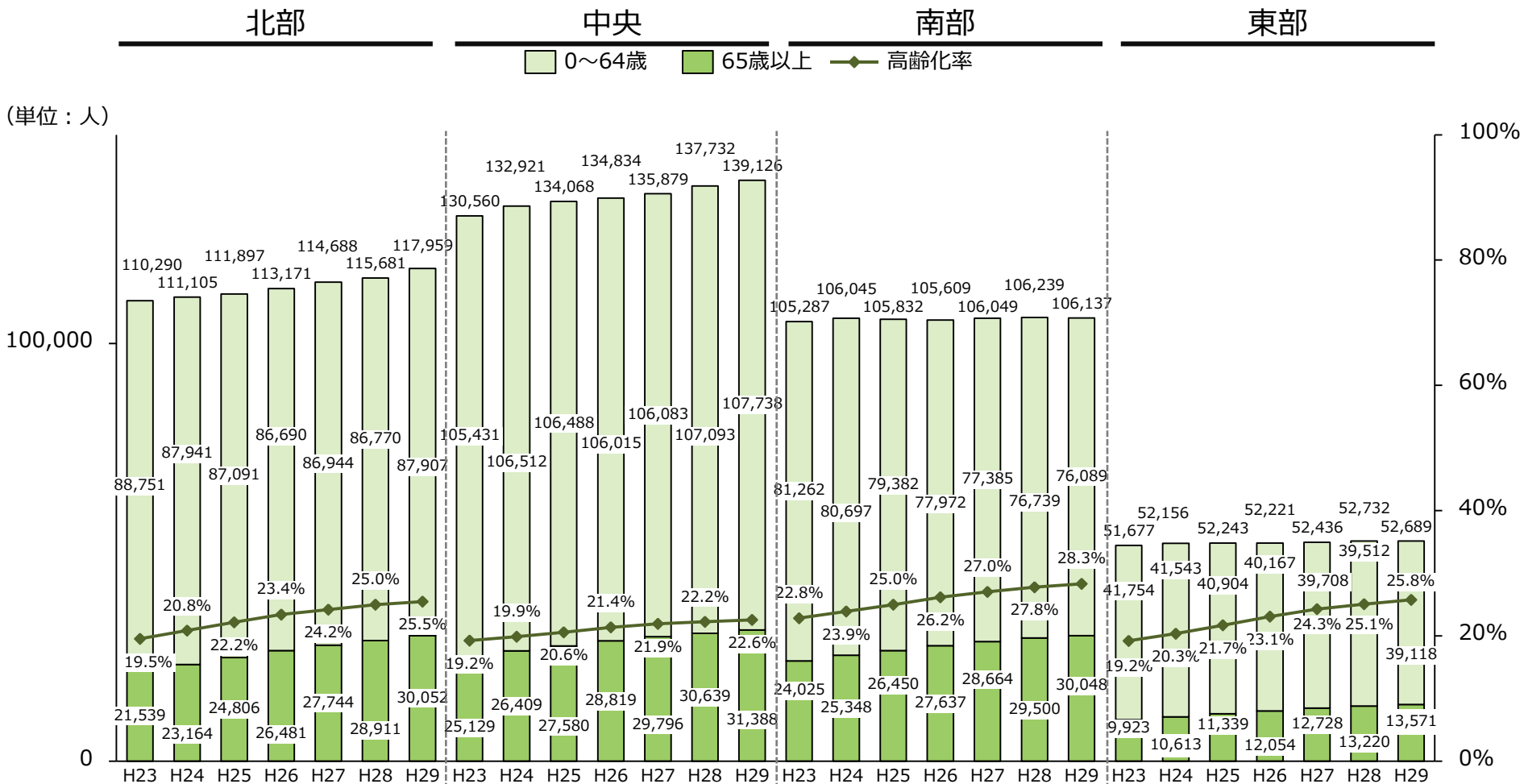
(単位：人)

各年10月1日現在の人口数



柏市の人口推移と高齢化率（エリア別）

- どのエリアも人口は増加しているが、なかでも北部と中央エリアの増加率が高い。
- 高齢化率は増加傾向にあるが、中央エリアは市全体の平均を下回っている。



全死亡者と“看取り死”の推移

死亡診断書・死体検案書の発行数の内訳

- 死亡診断書とは…

医師が“診察または診療した患者”について発行する「死亡の事実を証明する書類」で、死亡の届け出をする場合には、添付書類として必ず提出しなくてはならない。

- 死体検案書とは…

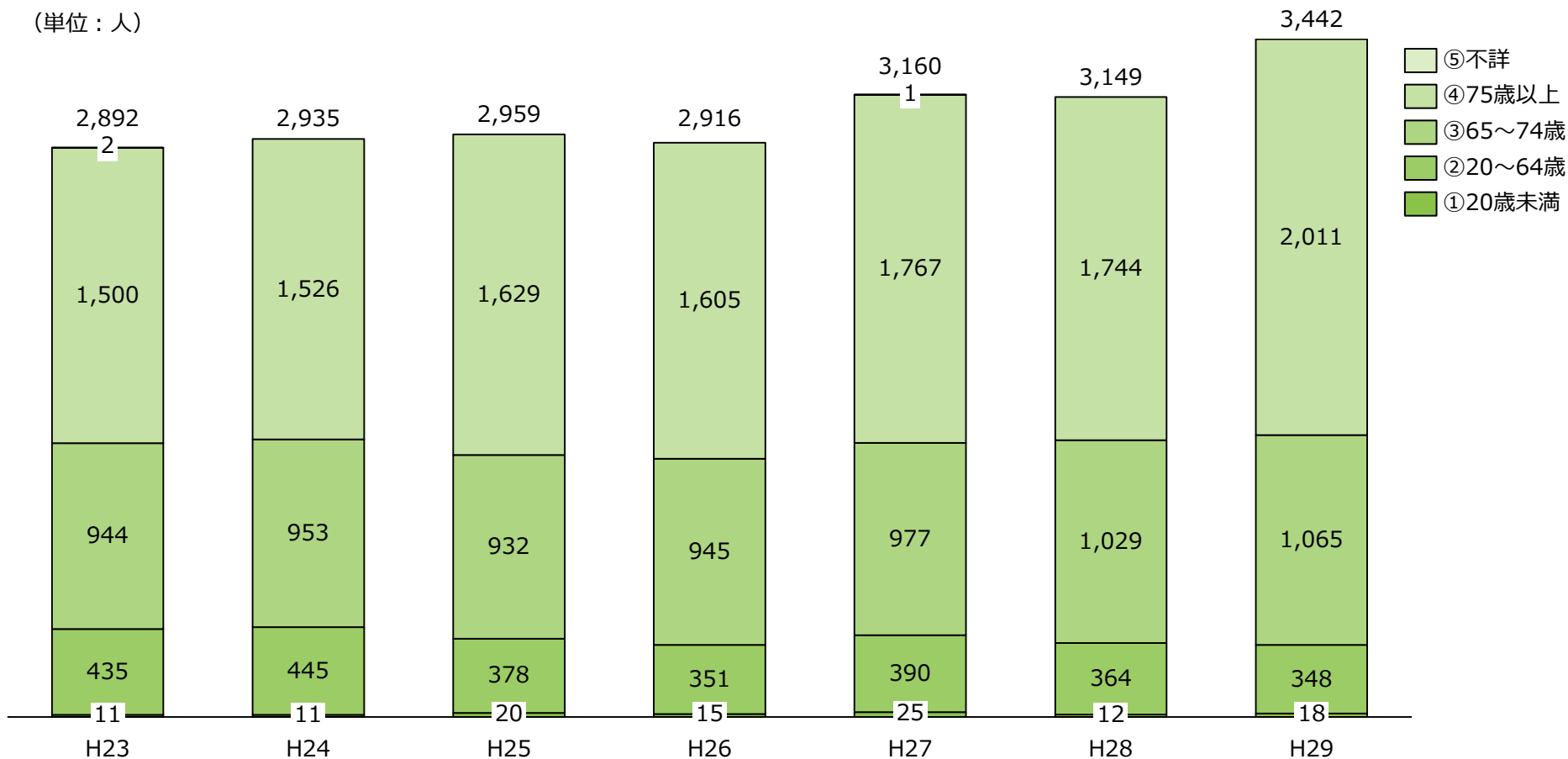
医師が“生前から診療していない人”の死に対して、検案した一定の事実によって、その人の死亡を証明する文書のこと。

(ともに小学館日本大百科全書より引用)

死亡者数の推移

- 増加分の多くは後期高齢者が占めている。

(単位：人)

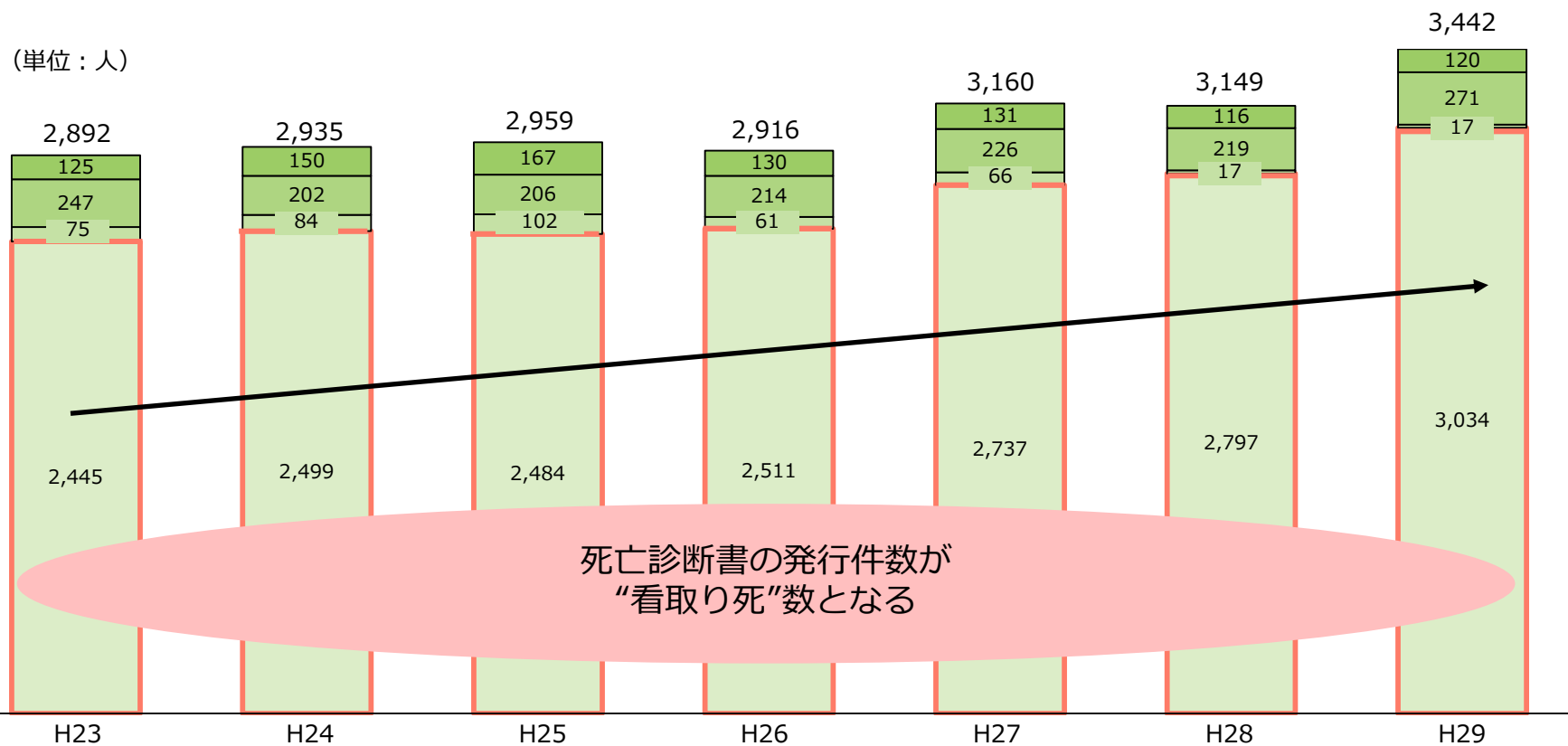


死亡診断書（死体検案書）発行数の推移

- 死亡診断書の発行数はゆるやかに増加しつつある。
- “看取り死”数は増加傾向にある。

- ① 死亡診断書発行
- ② 死体検案書発行（病死・自然死、非監察医による発行と推定）
- ③ 死体検案書発行（病死・自然死、監察医による発行）
- ④ 死体検案書発行（病死・自然死以外）

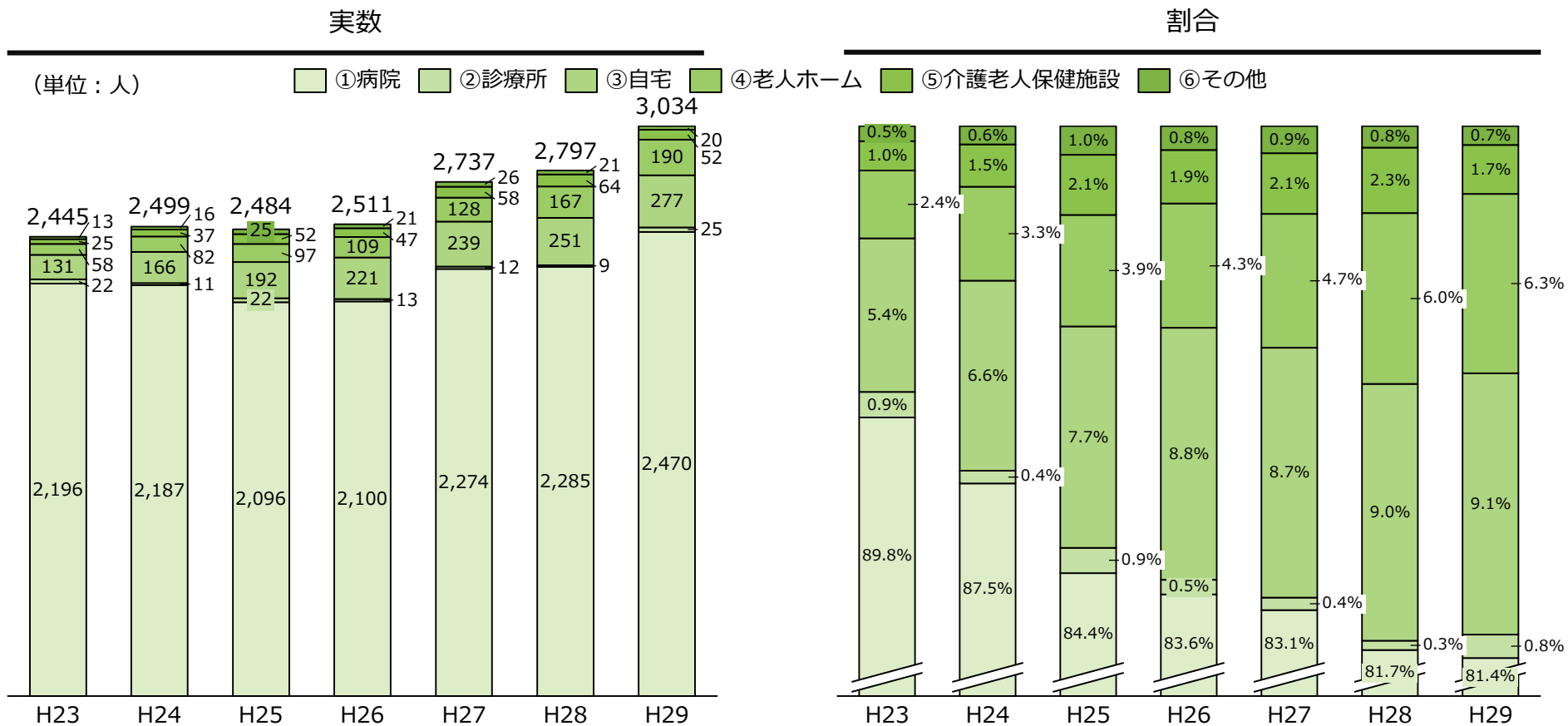
(単位：人)



死亡診断書の発行件数が
“看取り死”数となる

死亡場所別の“看取り死”数の推移

- どの場所でも“看取り死”数は増加傾向にある。
- 割合を見ると、平成23年から平成29年にかけて病院の看取りは約10ポイント減少したのに対し、自宅と老人ホームの合計値は約10ポイント増加、特に老人ホームの割合は約2.5倍になった。



居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”数の推移

- どのエリアも“看取り死”は増加傾向にある。

北部

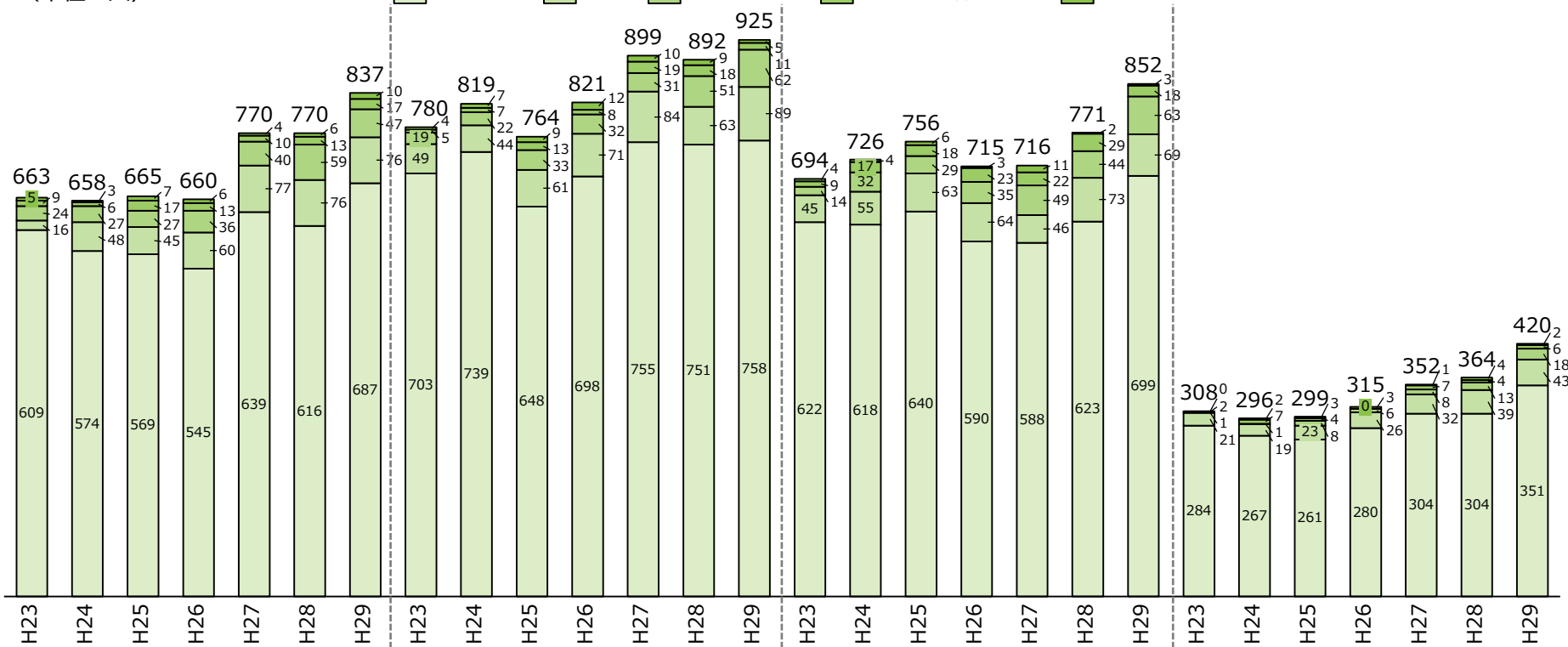
中央

南部

東部

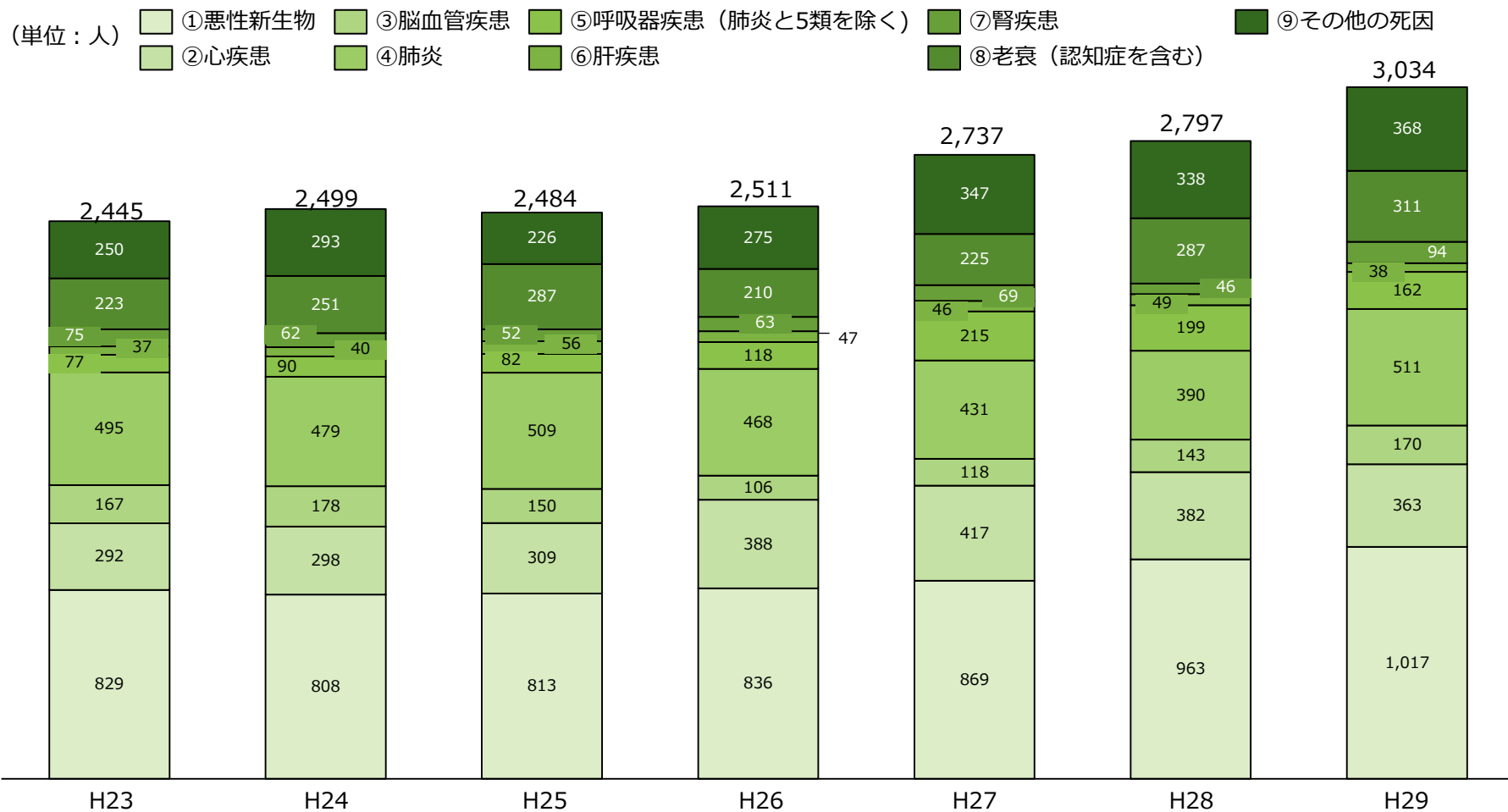
(単位：人)

医療機関
 自宅
 老人ホーム
 介護老人保健施設
 その他



“看取り死”した方の死因の推移

- “看取り死”した方の死因の構成比率には、経年による変化は見られなかった。

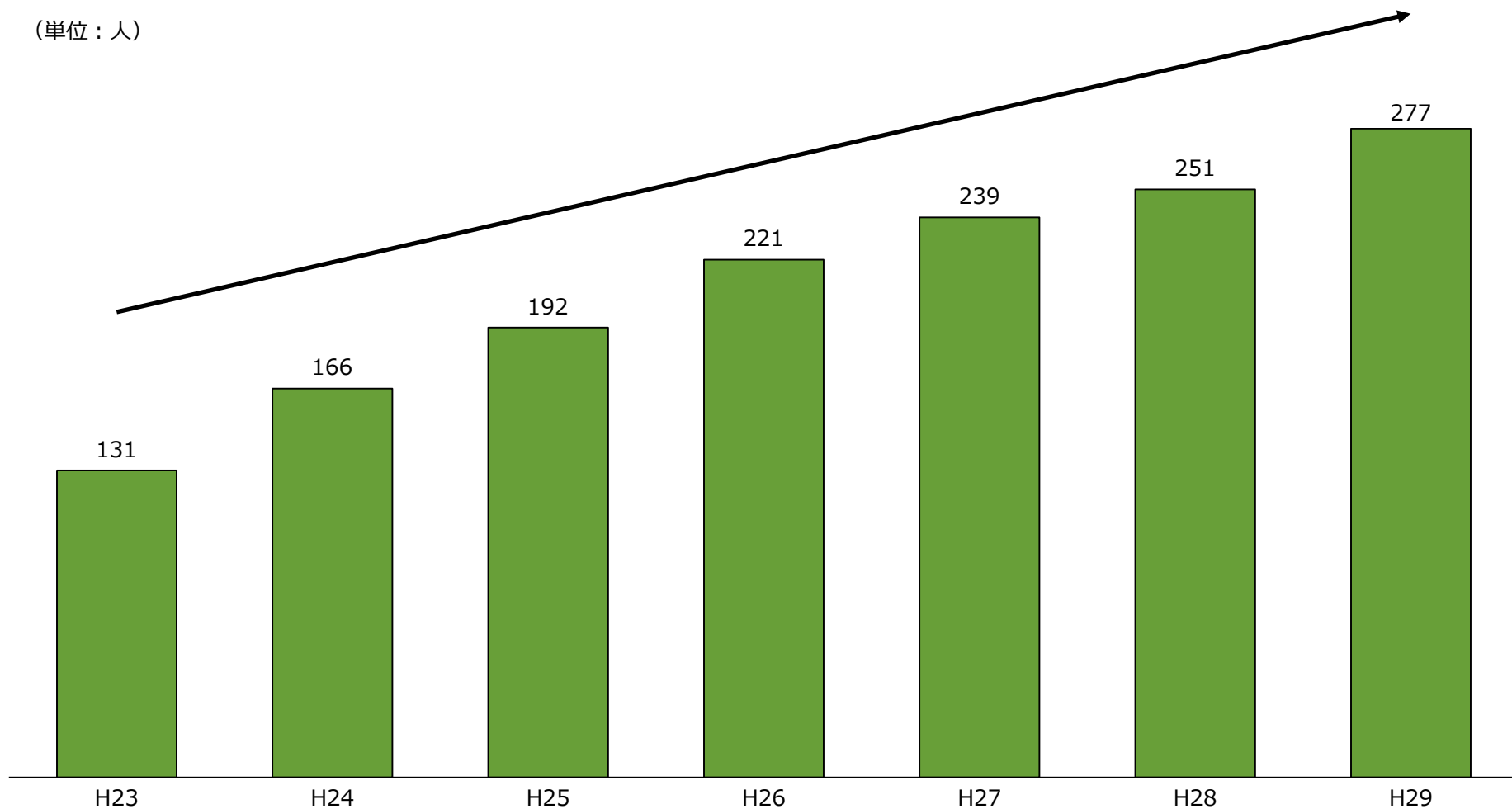


自宅での“看取り死”の推移

自宅での看取り件数の推移

- 自宅での“看取り死”数は増加傾向にある。

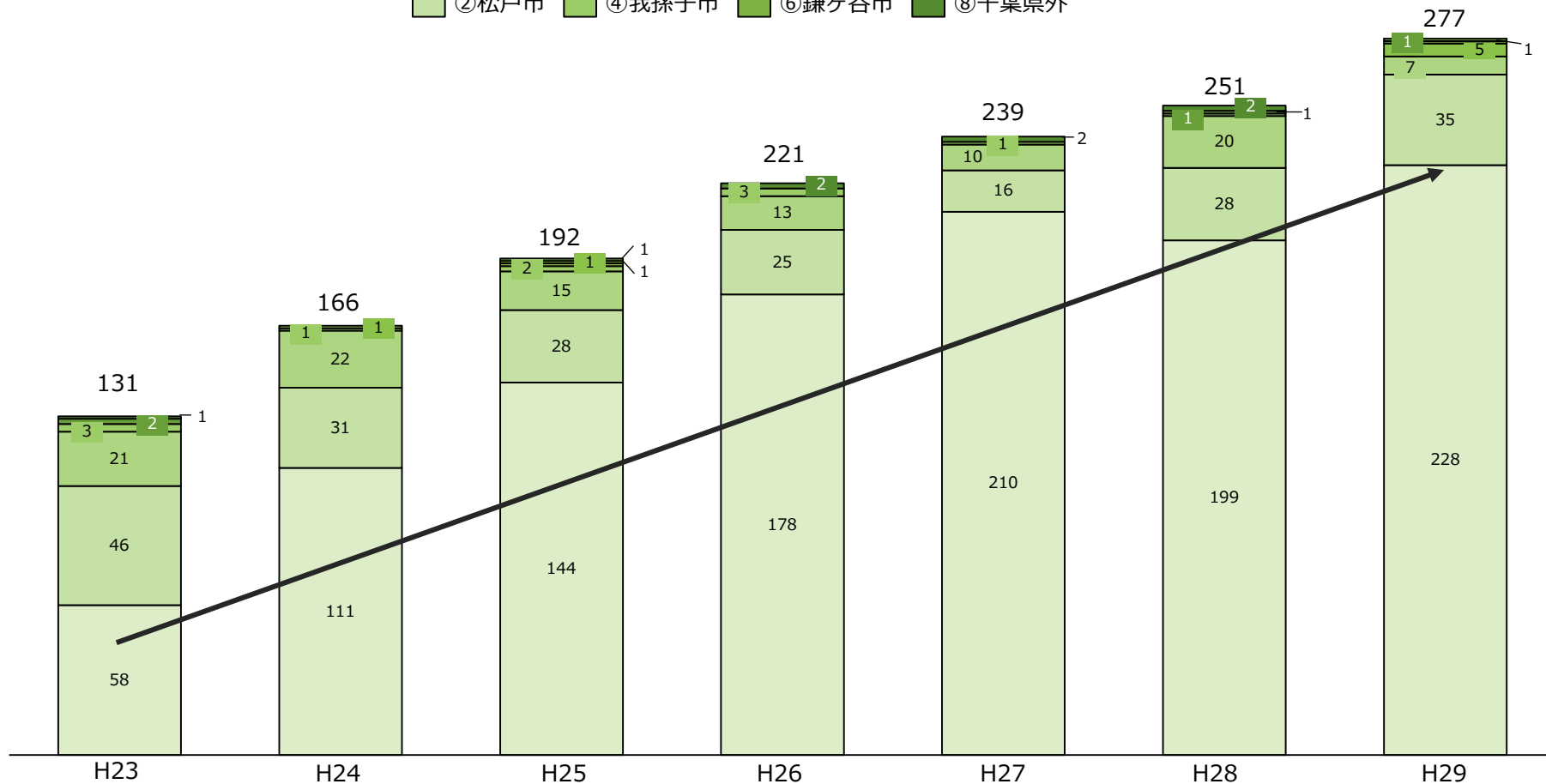
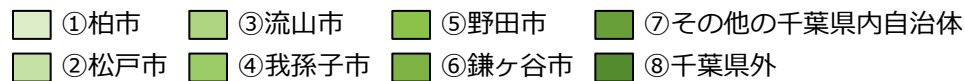
(単位：人)



医療機関の立地別の自宅看取り件数の推移

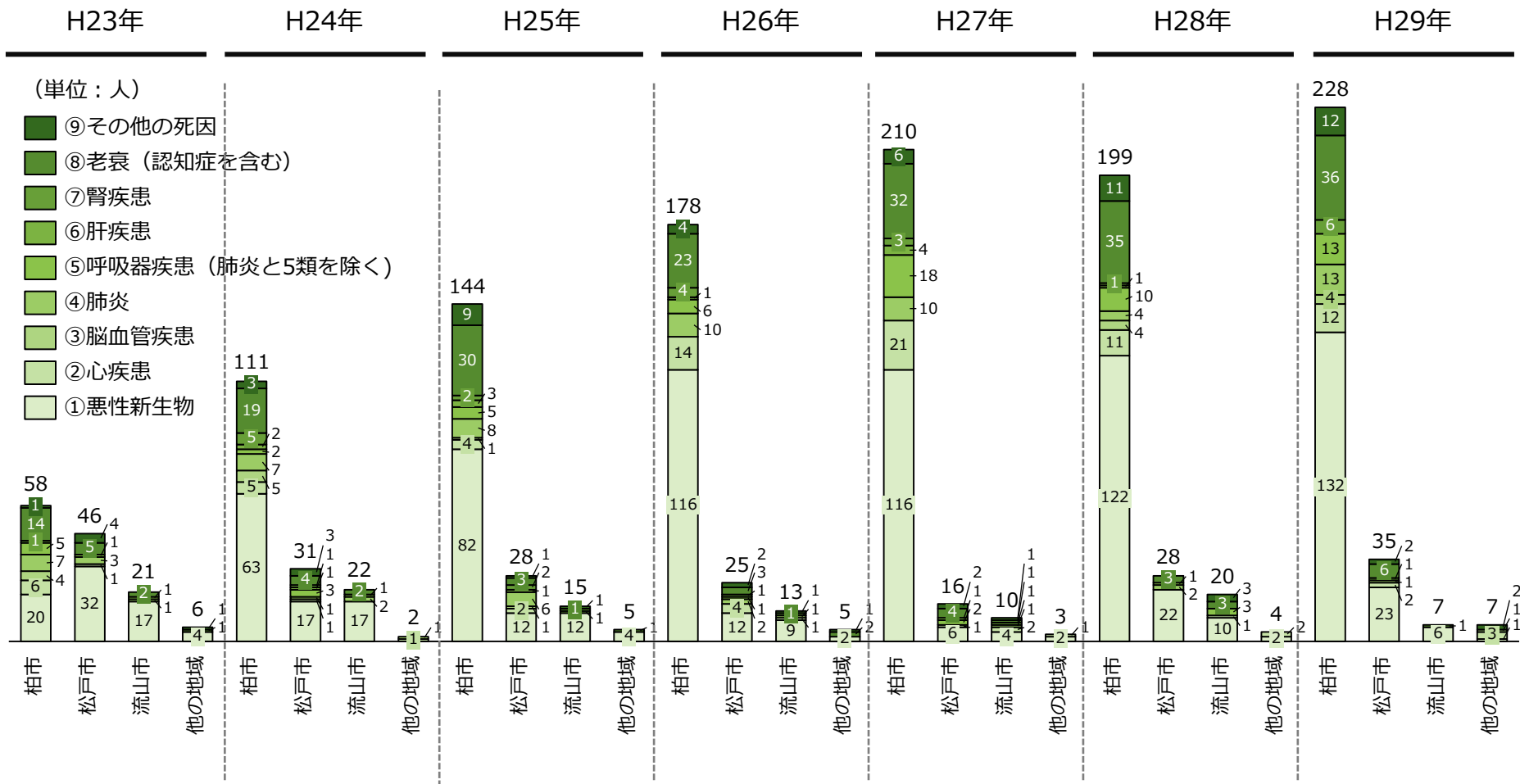
- 柏市内の医療機関による看取り件数は一貫して増加傾向にある。

(単位：人)



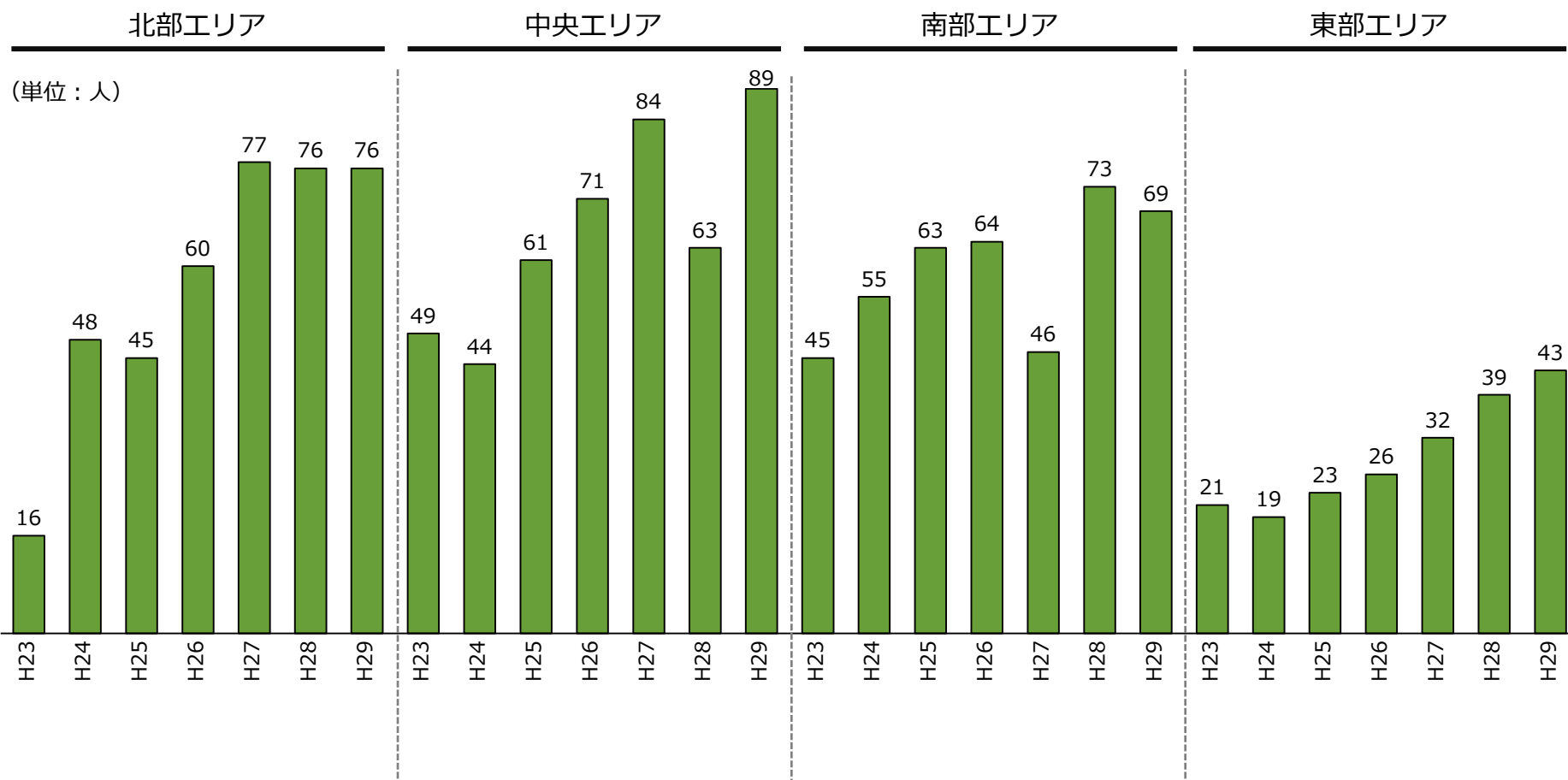
死因別・医療機関の立地別の自宅看取り件数の推移

- 柏市内の医療機関によるがん看取りの件数は増加傾向にある。



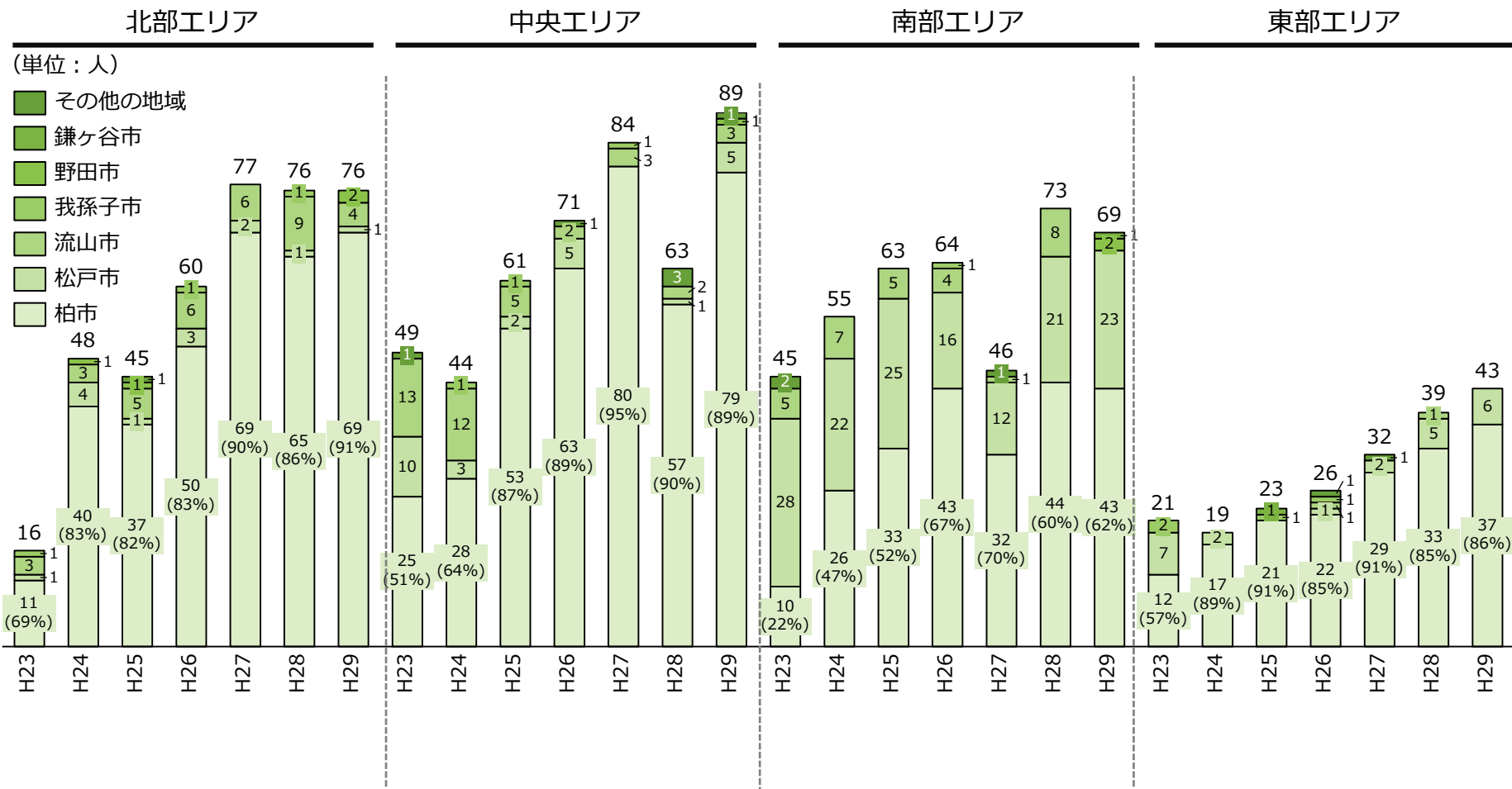
市内のエリア別の自宅“看取り死”数の推移

- エリアごとに自宅“看取り数”の増減の傾向には違いが見られる。
- 南部、東部エリアは前年割れした一方で、中央エリアは前年の約1.5倍となった。



市内居住エリアと看取った医療機関所在地のクロス分析

- どのエリアも柏市内の医療機関による看取り件数・割合は増加傾向にある。
- 他市の依存度を見るとエリアごとに差が見られ、北部エリア9%、中央エリア11%、南部エリア38%、東部エリア14%だった。



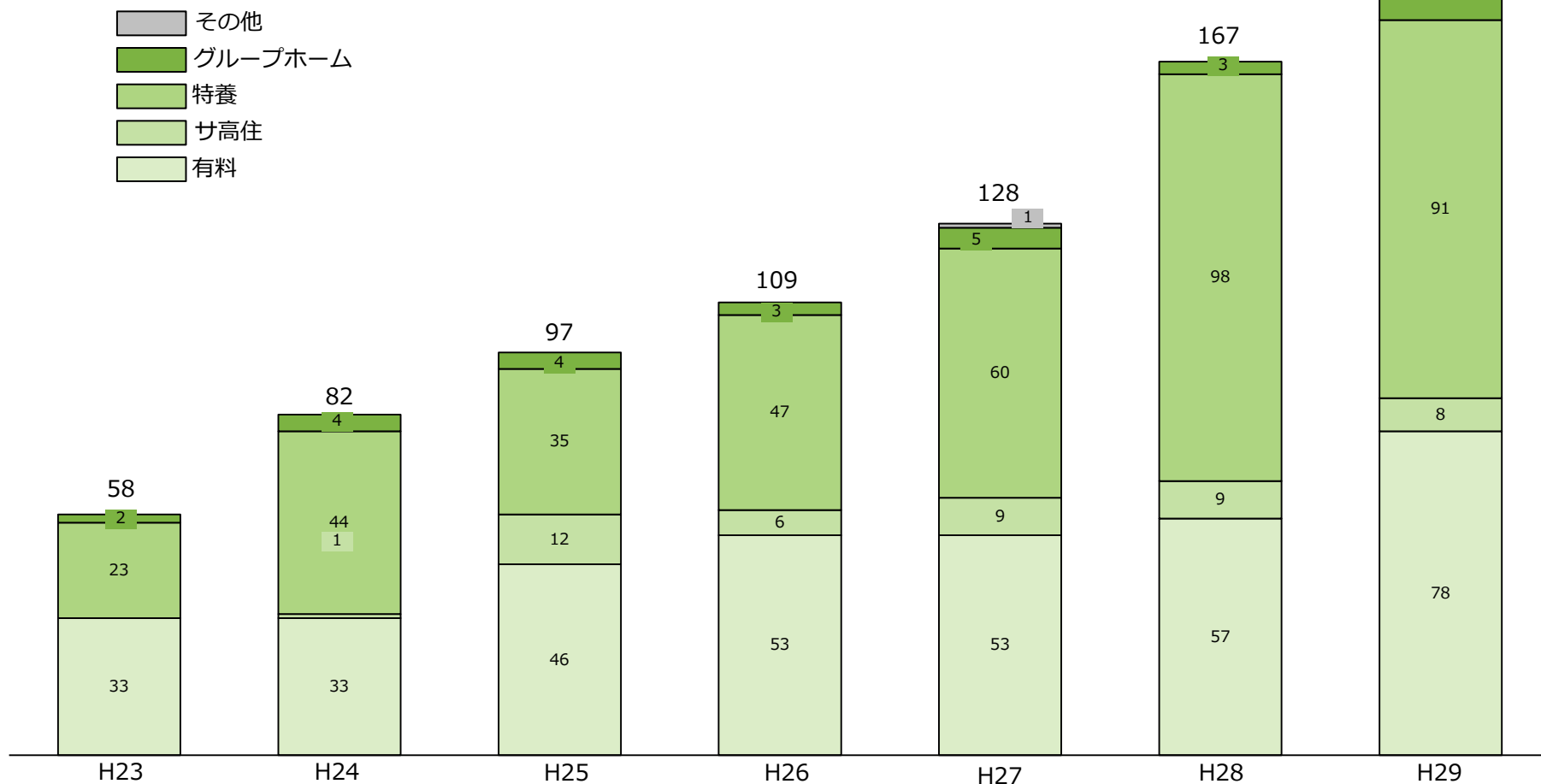
Section.3

その他のデータ

老人ホームの種別ごとの看取り件数の推移

- 平成23年から平成29年にかけて、特養での看取り件数は約4倍、有料老人ホームの件数は約2.4倍になった。

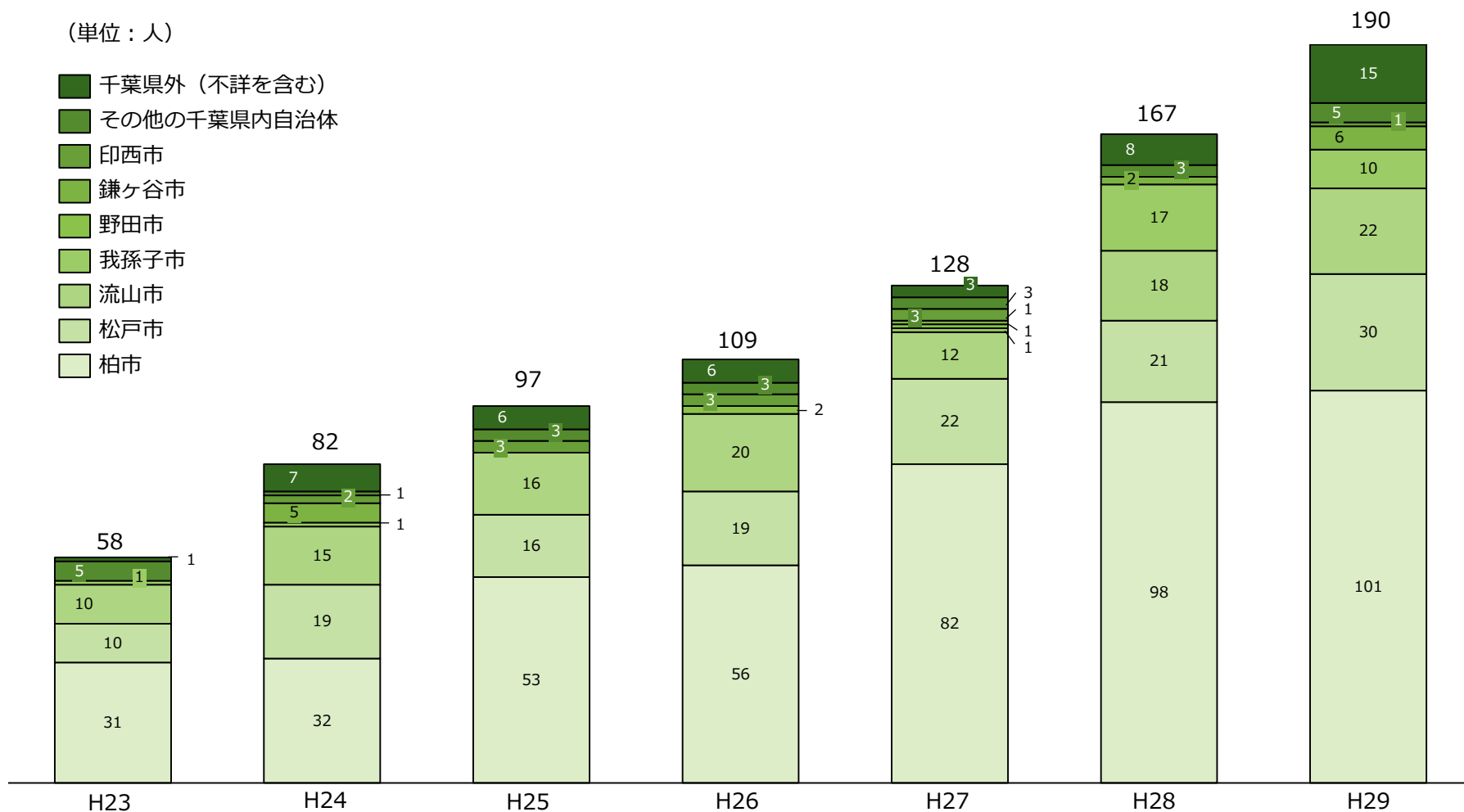
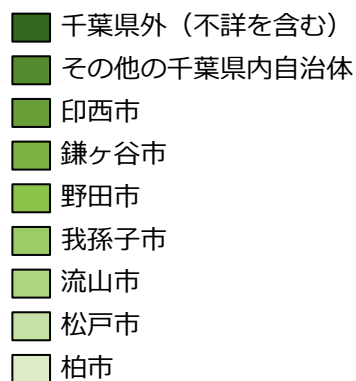
(単位：人)



老人ホームで看取りをした医療機関の立地ごとの看取り件数の推移

- 柏市内の医療機関による看取り件数は増加しつつあるものの、割合は増減変動が見られる。

(単位：人)



市内のエリア別の“老人ホーム”看取り死数の推移

増減はあるものの、どのエリアも増加傾向にある。平成23年との比較では、南部エリア、東部エリアの伸びが大きい。

